

中 新版理科の世界 2 (理科 828) 拡大版【26P】(全4分冊)

新版

拡大版【26P】(全4分冊-①)

理科の世界 2^①

SCIENCE
WORLD



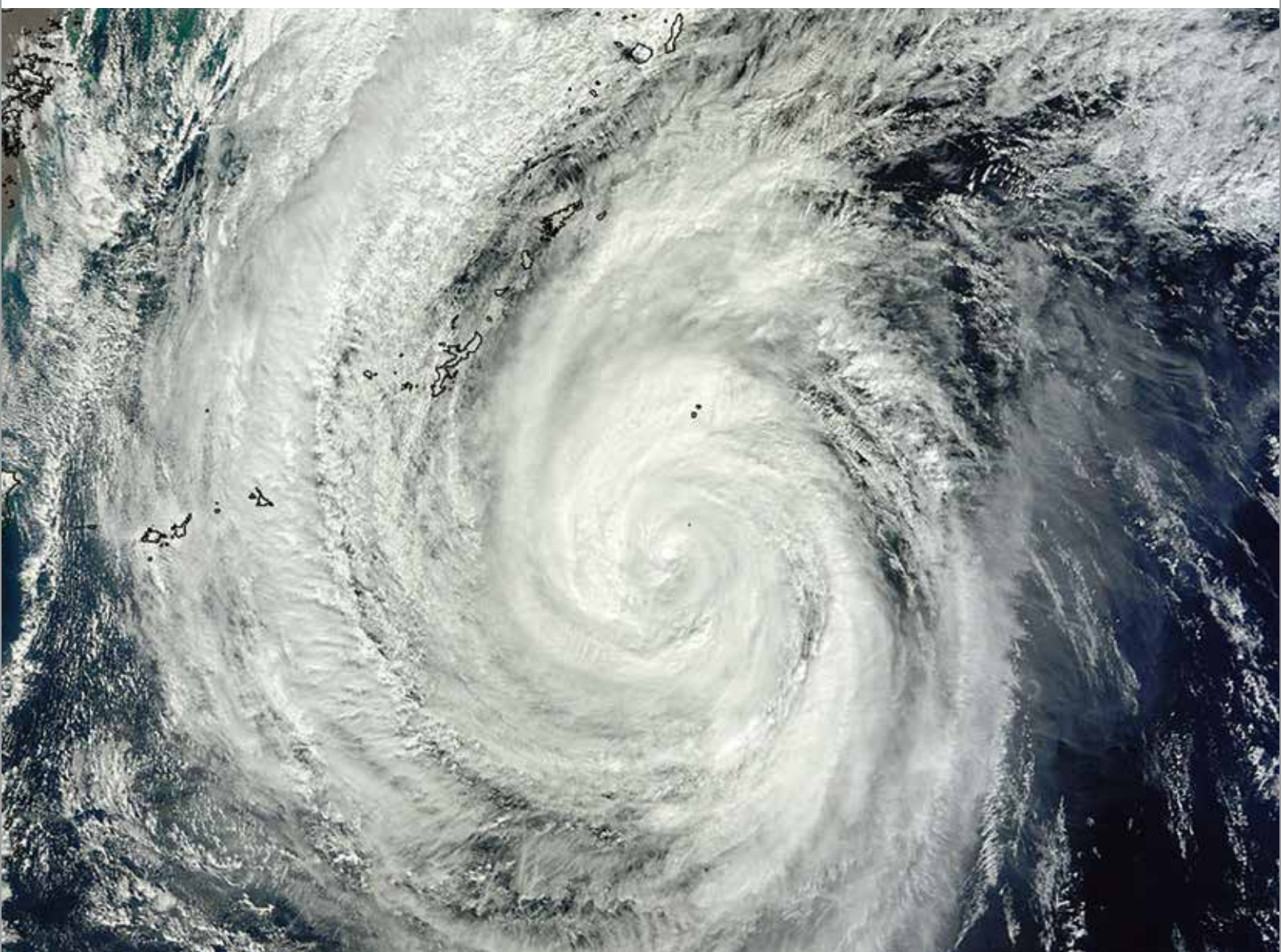
A4判 26P 理科2

大日本図書

4章

日本の気象

ここでは、日本の気象と天気にはどのような
とくちょう
特徴があるのか、くわしく調べていこう。



267-6 ページ **問い** の解答：

① 前線面 ② 温暖前線 ③ 寒冷前線

268-1

A4 判 26P 理科2

台風が九州に上陸したときの天気図と
気象衛星雲画像を重ね合わせたもの。



思い出そう

台風は日本のはるか南の海上で発生し、しだいに北のほうへ動くことが多い。天気は、台風の動きによって変化する。台風が近づくと、多くの雨が降り、風がとても強くなる。 (小学校5年)



1 日本の気象の特徴



日本の気象と日本周辺の気団とはどのような関係があるのだろうか。

日本は広い大陸と海洋にはさまれた
^{ちゅういど}中緯度地帯^{★1}に位置している。大陸と海洋
上には、季節ごとに気温や^{しつど}湿度の異なる大
きな^{←←}気団が発達する（図33）。高気圧が
つくる気団はそれぞれの季節に特有な風
^{きせつふう}（季節風）や天気をもたらし、日本の気象
に大きな^{えいきょう}影 響 をあたえている。また毎
年のように^{しゅうらい}襲 来 する台風の勢力には、海
流の水温がかかわっている。これらの日本
の気象について理解を深め、安全で豊かな
生活に^い活かしていこう。

261-5 ページ ◀ 気団 ☉ ⇐

★1：北緯，南緯それぞれ30～60°付近。この地域
では南と北の気温差が大きい。

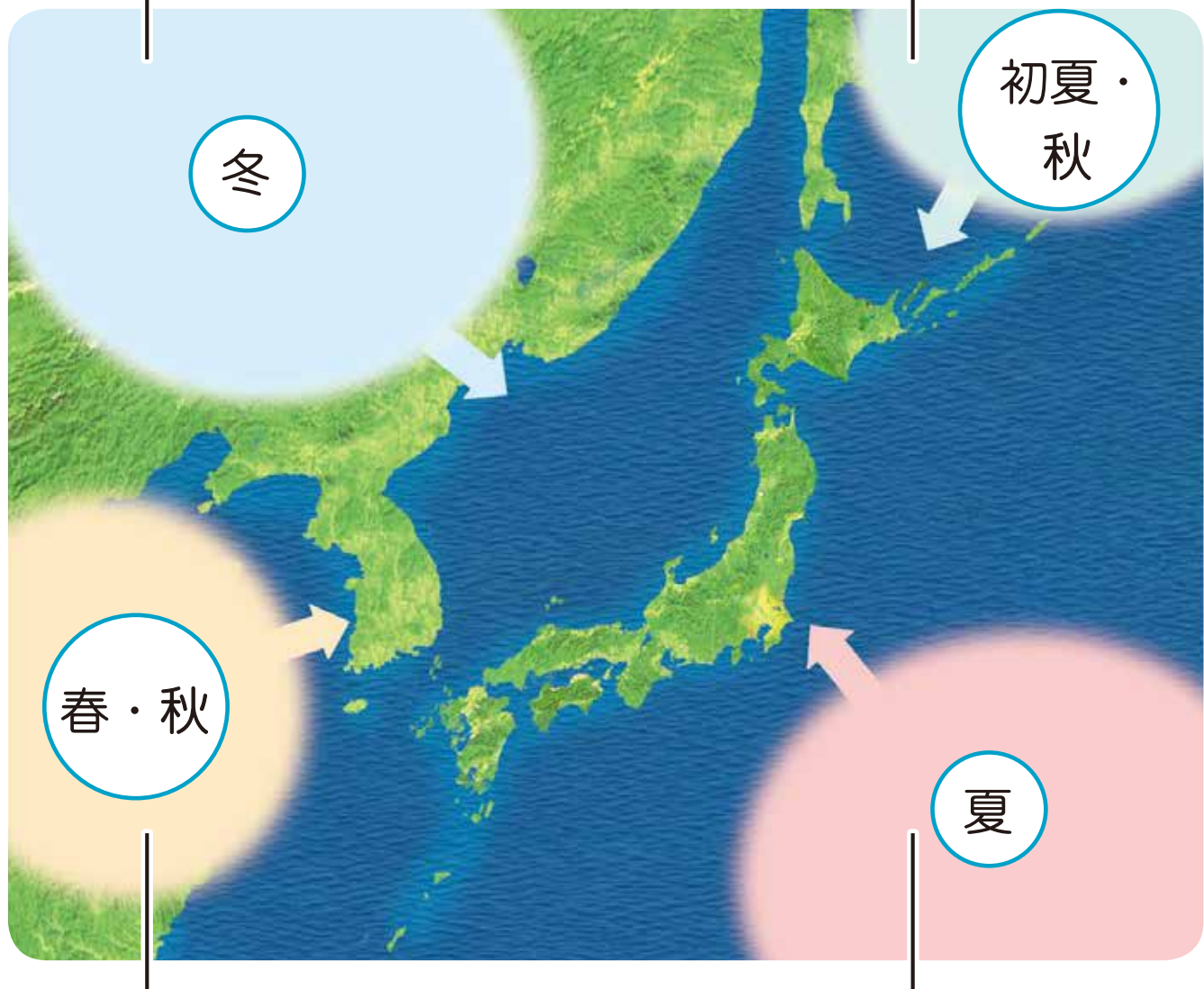
図33 日本周辺の気団

シベリア

シベリア気団
(寒冷・乾燥)
かんそう

オホーツク海

オホーツク海気団
(低温・湿潤)
しつじゅん



ちょうこう ようすこう
長江 (揚子江) 流域

揚子江気団
(温暖・乾燥)

おがさわら
小笠原諸島

小笠原気団
(高温・湿潤)

A4判 26P 理科2

269-1

気団は高気圧が
つくっているから、
気団から風が
ふき出すんだね。



表3 日本周辺の気団の特徴

気団名	高気圧
シベリア気団	シベリア高気圧 (大陸高気圧)
小笠原気団	小笠原高気圧 (太平洋高気圧)
オホーツク海気団	オホーツク海高気圧
揚子江気団	熱帯の大陸高気圧

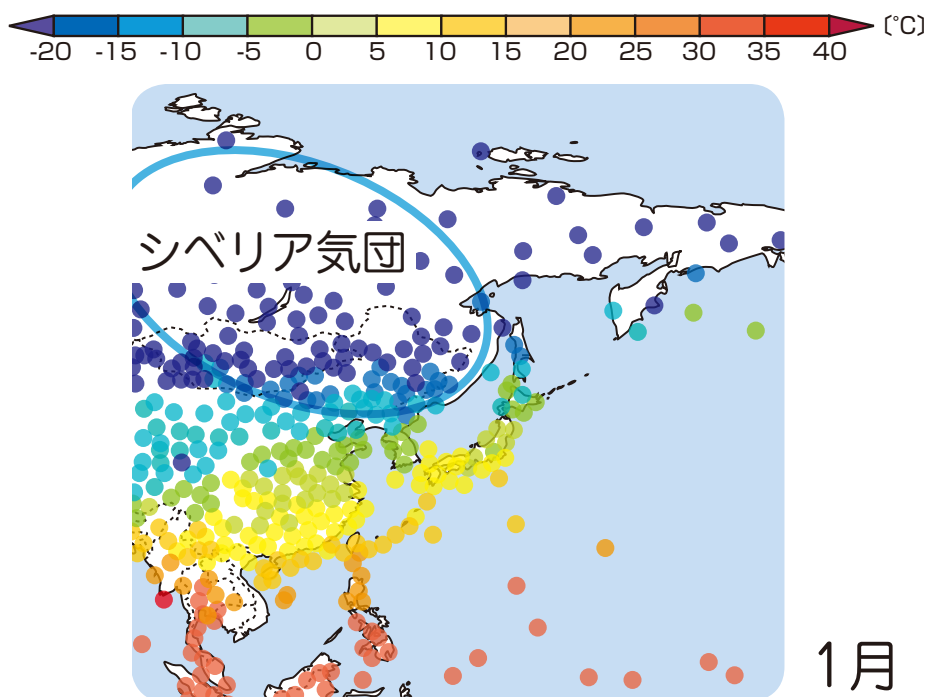
	発生地	性質★ ¹	発達する季節
	シベリア	寒冷・乾燥	冬
	北太平洋西部	高温・湿潤	夏
	オホーツク海	低温・湿潤	初夏・秋
	長江（揚子江）流域	温暖・乾燥	春・秋

★1：ここでは，気団の性質で「寒冷」というときは0℃より低く，「低温」というときは，温度は低いが0℃より高いことを指す。

図34 シベリア・小笠原両気団のおもな発現時期
の月平均地上気温分布（平年値^{★2}）

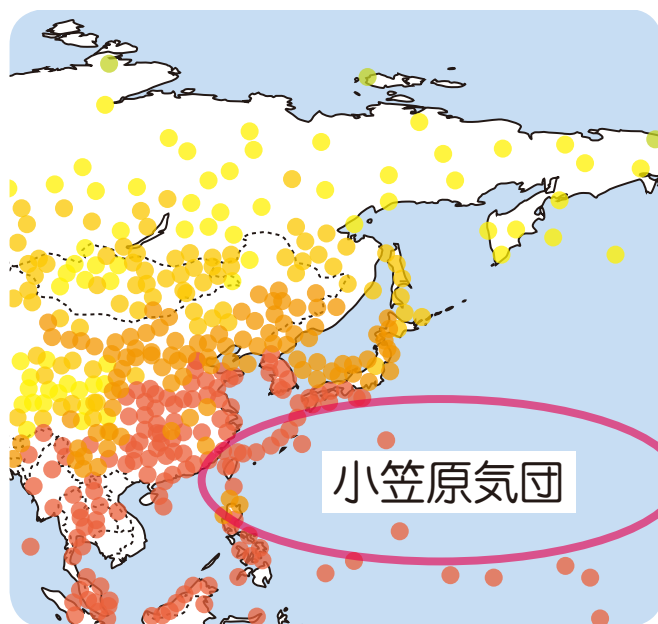
シベリア気団

シベリアの冷たく乾燥した大陸の上に発達する。
寒い季節にモンゴル北部からシベリア付近に広く
発達する寒冷な気団で、大陸の放射^{れいきゃく}冷却と北極
海方面からの寒気団の南下によってできる。高さは
3 km以下程度であるものの、発達したときには
水平方向に数千kmの大きさとなる。



小笠原気団

北太平洋の^{あねったい}亜熱帯地域には，おもに熱帯～亜熱帯のあたたかい海洋上でつくられた気団が，つねに帯状に広がっている。この気団の西の部分を小笠原気団とよぶ。気団の上層部は乾燥しているが下層は湿潤である。



8月

★2：平年値とは，連続する30年間の平均値（10年ごとに^{こうしん}更新）をいう。

A4判 26P 理科2

269-6